

3 日本一の安心農産物「千葉ブランド」の確立

～県民の命と幸せを守る「食と農」の総合プロジェクト～

おいしさと新鮮さに、安全・安心を付加することによって「千葉ブランド」を確立する。

「千葉ブランド」が、県民一人ひとりに信頼をもって受け入れられ、ほしいときにいつでも手に入れることができるよう、生産から流通に至るまでの変革を行う。



| | |
|---------------------------------|--------|
| 1 「千葉ブランド」農産物を生産するための個性豊かな産地づくり | |
| グレードアップ産地育成普及活動推進事業 | 1 百万円 |
| 輸入品に負けない「美味しい」農産物の生産対策事業 | 3 百万円 |
| 「千葉ブランド」産地総合助成制度 | 50 百万円 |
| 農業経営相談・支援窓口設置運営事業 | |
| 農山漁村男女に参画いきいき支援事業 | 1 百万円 |
| 千葉新規就農等支援事業 | 33 百万円 |
| 農林業ビジネスチャンス創生事業 | 13 百万円 |

| | |
|-------------------------|--------|
| 2 安全・安心で信頼の「千葉ブランド」の確立 | |
| 「ちばエコ農産物」産地拡大の推進 | 12 百万円 |
| 食の安全安心生産対策事業 | 4 百万円 |
| 県産農産物生産履歴記帳運動推進事業 | 6 百万円 |
| ちば食育活動促進事業 | 12 百万円 |
| 食に関する指導と学校給食における千産千消の推進 | 28 百万円 |
| ICタグを活用した農産物トレーサビリティの推進 | 26 百万円 |
| 畜産物のトレーサビリティの推進 | 16 百万円 |
| 食品安全推進事業 | 15 百万円 |
| DNA塩基配列に基づく水稻品種識別技術の開発 | 3 百万円 |

| | |
|-----------------------------|--------|
| 3 いつでも手に入る「千葉ブランド」のための流通の変革 | |
| 千産千消ネットワーク推進事業 | 8 百万円 |
| 「千葉ブランド」販売店設置事業 | 3 百万円 |
| 千産全消販売促進事業 | 18 百万円 |
| 卸売市場ネットワーク推進事業 | 1 百万円 |
| 農業者と消費者の交流促進活動支援事業 | |
| 朝揚げ「新鮮丸ごと千葉のさかな」の直送推進事業 | 1 百万円 |
| 農林水産品・食品輸出促進事業 | 15 百万円 |

【重点事業】

1. 「千葉ブランド」農産物を生産するための個性豊かな産地づくり

(1) グレードアップ産地育成普及活動推進事業【新規】 1百万円

10か所の農林振興センターにおいて、安全・安心対策の一層の促進を図るため、栽培法や肥料、農薬の使用状況などの生産履歴の記帳や表示、公開を推進するための普及活動を実施します。

(2) 輸入品に負けない「美味しい」農産物の生産対策事業【新規】 3百万円

今まで忘れられていた、「美味しく」て個性的なもの、ノスタルジックな農産物や加工品などに視点を向け、美味しいが輸送や保存が困難で市場流通に向かないもの、栄養価は高いが品質低下し易いもの、などを対象に地域特産物を開発し、産地として育成します。

(3) 米粉利用技術確立と普及に関する調査研究事業【新規】 1百万円

千産千消の推進と千葉産米の消費拡大を図るため、米粉を原料とするパン等の加工技術と地域流通の可能性について調査研究します。

(4) 「千葉ブランド」産地総合支援事業【新規】 50百万円

農業者等の創意工夫を活かし、地域農業の活性化を図るため、作物や事業メニューにとらわれない、ユニークで幅広い対応が可能な公募型総合支援制度を創設します。

(5) 農業経営相談・支援窓口設置運営事業【新規】

農林振興センターに、経営・技術・融資等に関する相談と支援を行う窓口を開設することにより、農業者等の多様なニーズに迅速に対応します。

(6) 農山漁村男女に参画いきいき支援事業 1 百万円

男女共同参画の意識醸成に向けて啓発活動を行うとともに、農林水産業に携わる女性のネットワーク会議を運営し、女性の社会参画を促進します。

また、女性リーダーの育成のための研修会や男性を対象としたセミナーを開催するとともに、学識経験者などで構成する推進懇話会に諮り施策の検討を行います。

(7) 千葉新規就農等支援事業〔再掲・戦略1〕 33 百万円

(8) 構造改革特区【新規】

農業の構造改革特区を活用した、民間企業やNPO法人等の農業への参入の促進により、農業の担い手の確保や遊休農地の有効活用、地域の活性化を図ります。

(9) 農林業ビジネスチャンス創生事業【新規】 13 百万円

生産者と関連産業や異業種との協調連携を図るため情報交換会・見本市・商談会などを行い、「アグリビジネスの芽」を掘り起こします。

2. 安全・安心で信頼の「千葉ブランド」の確立

(1) 「ちばエコ農業」産地拡大の推進【新規】 12 百万円

「ちばエコ農業産地3倍増」を新たな目標に掲げ、これを達成するために、生産者を対象とした、現地栽培試験展示ほの設置や検討会を開催するとともに、消費者を対象とした交流促進事業を展開していきます。

(2) 環境にやさしい農業推進事業 21 百万円

稲わら、家畜ふん尿等地域資源を活用した土づくり、農薬・化学肥料の節減等に産地で取り組みます。

- (3) 食の安全安心生産対策事業【一部新規】** **4百万円**
地域特産農産物等は適用農薬が少ないことから、早急に登録の適用拡大を推進します。また、安全な農産物生産を推進するため、農薬による事故の防止及び農薬の適正な流通・使用を推進します。
- (4) 県産農産物生産履歴記帳運動推進事業【新規】** **6百万円**
県及び生産者団体（全農）が主体となって、食の安心確保に向け、栽培法、肥料、農薬の使用状況を記録する運動を展開します。
- (5) ちば食育活動促進事業【新規】** **12百万円**
子供の頃から「食」に対する正しい知識を教え、自ら食について考えられるよう「ちば食育ボランティア」の活動を支援し、学校や地域、家庭における食育を推進します。また、食材の生産から食卓に届くまでの過程等を学ぶことができるホームページを開設します。
- (6) 小・中・高校生等農業体験受入支援事業【新規】** **3百万円**
小中学校の総合学習の場で「食と農」の重要な関係を学んだ子ども達や農業に関心のある高校生等を対象に、宿泊農業研修を受け入れる指導農業士等の活動を支援します。
- (7) 「おいしい野菜や果物等の選び方」啓発事業【新規】** **1百万円**
見かけにより判断されやすい農産物の正しい知識を普及・啓発することによって、おいしい野菜や果物等（本物）を見分ける知識の習得を支援します。
- (8) 魚食普及を通じた食育の推進** **1百万円**
学校給食を通じ、小学校のモデル校に対し、年間を通じて旬の県産水産物と情報を提供します。また、漁村や漁港の果たしている役割について都市部の住民の理解を深めるため、都市部で開催される料理教室や高校家庭科授業等におさかな普及員を派遣し、新鮮な県産水産物の食材を提供します。

(9) 若年者の健康づくりと骨密度調査から始める健康教育の推進【一部新規】

10 百万円

若年者（児童・生徒）の食生活を改善するため、骨粗鬆症予防の普及啓発、骨密度調査及び「食と健康教室」を実施することにより、朝食推進をはじめとしたバランスのとれた食生活を推進し、思春期やせ症の予防や将来の骨粗鬆症予防をはじめとする生活習慣病予防を図ります。

(10) 食に関する指導と学校給食における千産千消の推進【新規】 28 百万円

望ましい食習慣や郷土の食文化について、子どもの頃から学び、身につけるために、小学生向けの食に関する学習ノートを作成します。

また、学校栄養士を活用して、地場産物を生かした学校給食メニューを作成し、千産千消を推進します。

(11) ICタグを活用した農産物トレーサビリティの推進【新規】 26 百万円

流通関係者や消費者が、自分の購入した農産物のID番号から生産情報をホームページや携帯電話等で閲覧・確認できるトレーサビリティシステムを実証します。また、システムに必要な電子タグの基本的な通信性能の測定などの技術開発も併せて行います。

(12) 「ちばエコ農産物」トレ - サビリティシステム推進事業【新規】

10 百万円

「ちばエコ農産物」におけるトレ - サビリティシステムの充実・強化のために、県内農協等を対象に、生産履歴情報等の入力・管理システムを構築します。

また、ちばエコ農業情報ステ - ションの入力情報の増加に対応した迅速な生産履歴情報等の閲覧を可能にするため、効率的なデータ加除を行う入力システムを開発します。

(13) 畜産物のトレーサビリティの推進【一部新規】

16 百万円

牛については、生産者に対して飼育履歴等の的確な登録を指導するとともに、新たに牛に与えた飼料の情報を提供できる体制づくりに対し助成します。また、豚についてもモデル事業として、生産者等が実施するトレーサビリティシステムの構築に対して支援します。

(14) 食品安全推進事業 **15 百万円**
食に起因する健康被害・危害を防止するため、アレルギー物質を含む食品の検査体制を整備するなど、県民（消費者）の視点に立った消費者保護優先の総合的な食の安全・安心確保対策を推進します。

(15) DNA 塩基配列に基づく水稲品種識別技術の開発【新規】 **3 百万円**
本県水稲奨励品種等に適応した低コストで簡便、かつ精度の高い識別技術を開発し、原種、種子、流通米にわたる県産水稲の品種鑑定システムの確立を目指します。

(16) 漁場環境の監視と魚類防疫対策 **2 百万円**
貝毒及び水質調査、生物モニタリング調査を実施し、漁場環境の保全と水産物の食品としての安全性の確保に努めます。また、養殖魚の食品としての安全性を確保するために、医薬品の残留検査を行います。

3. いつでも手に入る「千葉ブランド」のための流通の変革

(1) 千産千消ネットワーク推進事業【新規】 **8 百万円**
学校給食やホテル、外食産業等が必要とする農産物を、迅速かつ効率的に供給するため、県内の大型集出荷場等のネットワーク化を図り、生産・出荷データを一堂に集めた「電子集出荷場」を開設し、流通の簡素化とコストを抑えた物流システムの構築を目指します。

(2) 「千葉ブランド」販売店設置事業【新規】 **3 百万円**
「千葉ブランド」の代表格である「ちばエコ農産物」の販路拡大と有利販売のため、販売協力店を設置するとともに、情報受発信の拠点として販売モデル店を設置します。

(3) 千産全消販売促進事業 **18 百万円**
首都圏をはじめ全国に向けて、県産農産物の販売促進活動を強力に展開していくため、都内アンテナショップによる販売促進活動などについて、事業内容を公募方式により募集して、県内はもとより首都圏・全国に向けて販売を促進します。

- (4) 卸売市場ネットワーク推進事業** **1 百万円**
平成14年度に千葉県青果市場協会を事業主体としてスタートした、ITを活用した千葉バーチャルマーケットへの新規参入者の掘り起こしを通じて、集荷力の向上を図ります。
- (5) 農業者と消費者の交流促進活動支援事業【新規】** **4 百万円**
農業者や消費者等の代表者で構成する農業者と消費者の交流促進協議会を設置します。また、この協議会を中心に農産物の販路拡大や有利販売を目的とした直売シンポジウム、地場農産品活用料理講習会や、農業者と消費者の交流会を計画的に実施します。
- (6) 朝揚げ「新鮮丸ごと千葉のさかな」の直送推進事業【新規】** **1 百万円**
高鮮度が売りの朝揚げ水産物の都市部での当日販売を開拓・推進します。
- (7) 農林水産品・食品輸出促進事業【新規】** **15 百万円**
国、ジェットロ等と連携・協力して主に東南アジアを中心とした販路拡大を目指し、輸出促進のための研究会を開催するとともに、海外のデパートやスーパー等におけるアンテナショップなどでの試験販売、生産者団体等が実施する品目別輸出相談・輸出研究等の支援等、輸出に必要な対策に取り組みます。
- (8) 千葉の植木生産国際化推進事業【新規】** **5 百万円**
国際的な植木の生産流通事情、検疫等の輸出入に係る法手続きを調査するとともに、有望な海外・国産植木樹種等を試作流通させ、技術・経営的に輸出入が可能であるかを検討します。
- (9) 県産小麦 100%のパンに適した小麦品種の選定と栽培法の確立【新規】** **1 百万円**
千葉県ではパン用に適した小麦の奨励品種がないため、本県の栽培環境に適し、製粉特性や製パン性に優れた品種を選定し、その栽培法を確立します。

(10)「千葉ブランド」水産加工品開発支援事業

2 百万円

水産研究センターと水産加工業者が共同し、本県の特産性魚であるカタクチイワシの活用促進、イワシ胡麻漬けの機能化及び県産柑橘類を用いた製品の多様化、塩干品の新品質基準の実践化に取り組みます。